

神戸大学交響楽団

第14回定期演奏会

*Program*

---



# 14th. Concert

Kobe University

Symphony Orchestra

Conductor M. Onoki

Solist Y. Takeya



1964. 11.30 p.m. 6:30 SANKEIKAIKAN OSAKA

12.1 p.m. 6:30 KOKUSAIKAIKAN KOBE

# PROGRAM

I      **Concerto Grosso Op.3. No.8 A-moll**      **Vivaldi**

Allegro

Larghetto spiritoso

Allegro

II      **Piano Concerto Coronation D-dur K. 537**      **Mozart**

Allegro

Larghetto

Allegretto

— Intermission —

**Address**

**Captain Akira Matunaga**

III      **Symphony No.5 C-moll Op.67**      **Beethoven**

Allegro con brio

Andante con moto

Allegro

Allegro

IV      **Divertimento**      **Y. Toyama**

Allegro

Andante

Allegro

# プログラム

I    コンチェルト・グロッシェ 第8番    イ短調    ヴィヴァルディ  
      (二つのヴァイオリンのための協奏曲)

アレグロ

ラルゲット エスピリトーソ

アレグロ

II    ピアノ協奏曲 第26番    ニ長調「戴冠式」    モーツァルト

アレグロ

レガート

アレグレット

— 休 憩 —

御 挨拶

部長 松 永 明

III    交響曲 第5番    ハ短調「運命」    ベートーヴェン

アレグロ    コン    ブリオ

アンダンテ    コンモート

アレグロ

アレグロ

IV    ディヴェルティメント    外 山 雄 三

アレグロ

アンダンテ

アレグロ

# プロフィール Soloist

## 武谷安子さんについて



武谷さんは子供の時分から「やつちゃん」という愛称で呼ばれ、多くの人から可愛がられた。今日でも音楽家仲間では失礼ながら時々こう呼ばしてもらっている。

彼女は幼い時から音楽の才に恵まれ、将来は素晴らしいピアニストになるだろうと期待されていた。ちなみに彼女のお母さんもかつての上野出身の音楽家である。こういった毛並みの良さと恵まれた環境に育ち、やがて東京芸術大学音楽部楽理科を卒業され、すぐにわが音楽科に勤務していただき現在に至っている。楽理科出身ではあるが、もって生まれたピアニストとしての素質はますます伸びて今日ではすでに若いピアニストの中では異色ある存在であり、演奏技法やレパートリーの広さにおいては驚くべきものがある。特に古典の研究は見事なもので、楽界においてこれまで未発表の楽曲を常に演奏とともに研究発表している。わが国の音楽界では理論と実技がなかなか伴わないが、彼女はこれを見事にマスターしている。この点から当然とはいえ、伴奏法にかけてはすでに一家をなしている。近くりサイタルも催すときいてますます期待がもてる。

又教育にも熱心で本学部の教官としては最適任者として皆から尊敬されている。

神戸大学教育学部音楽科主任教授

伊熊良穂

### 武谷安子

昭和31年3月

東京芸術大学音楽部楽理科  
卒業

同年10月

神戸大学教育学部音楽科に  
勤務、現在に至る  
音楽学会々員  
伊達純氏に師事



お買物は  
しゃれたセンスの  
三宮そごうで！



## 昭和39年度神響の活動

- 3月11日 第13回教育学部音楽科卒業演奏会 於国際会館  
ベートーヴェン ピアノ協奏曲 第3番 他
- 5月13日 大学祭 於国際会館  
ロッシーニ セビリアの理髪師  
シューベルト 未完成交響曲
- 5月14日 於六甲講堂  
ロッシーニ セビリアの理髪師  
シューベルト 未完成交響曲
- 6月6日～8日 合宿 於姫路青年の家  
新入生との親睦をはかるため
- 7月23日～8月3日 合宿 於金沢
- 8月1日 金沢演奏会 於観光会館

- ヘンデル 水上の音楽  
ニコライ ヴィンザーの陽気な女房達  
モーツァルト ヴァイオリンコンチェルト第4番  
シューベルト 未完成交響曲
- 8月30日 住吉中学演奏会 於住吉中学校  
シューベルト 未完成交響曲  
ケテルビー ベルシャの市場にて  
モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第4番 第1楽章
- 11月21日～23日 合宿 於奥池ユスーホテル
- 11月30日 定期演奏会 於サンケイホール
- 12月1日 定期演奏会 於神戸国際会館

### ＝ 紹 介 ＝ 神戸大学交響楽団を指導していただいた専門家……

学生としての音楽活動はいかにあるべきか、私たちのオーストラはいろいろ議論しました。今まで文字通り「学生」として独自の音楽の形成を概ねもってきましたが、今年は初めての試みとして、音楽性ならびに技術の向上を目標に二人の専門家を招いて音楽についての理解と経験を深めるよう努力してまいりました。

#### 泉 庄 右 衛 門 氏



氏は忙しい仕事の傍ら、できるかぎり我々の練習に参加して下さいました。春の合宿、大学祭、夏の合宿等々。専門家の実力には学生とのひらきを感じられるが若々しい氏は学生ととけ合うことに非常な努力をなさいました。今夕の演奏も氏の努力の成果でございます。現在は大阪フィルハーモニーオーケストラのクラリネット奏者として活躍されております。

#### 阿 部 修 也 氏



氏は大阪フィルハーモニーオーケストラでヴァイオリンを演奏されています。氏は弦パートにおいて細部にまで注意のゆき届いた、また音の表現の仕方については、誠に実感のこもった指導をなさいます。未熟な我々にとっては氏の経験から出た適切な助言は大きな力があります。遠慮のない話を持ち出す部員が現われるのも、気さくなお人柄のなせる業かと思われまます。